



# INTERVIEW 山本 篤選手 アスリートを支えるものづくり

日本の義足アスリートで初のパラリンピック・メダリストであり、2020年東京大会での活躍も期待される山本篤選手。その活躍を支えるスポーツアダプター（スポーツ用義足の接続部品）を製作している名取製作所様のご協力のもと、山本選手と北林理事長のインタビューをお送りいたします。

—2016年のリオパラでは走り幅跳びで銀メダル、4×100mリレーで銅メダルを取られていますが、そのときも名取製作所さんの義足の部品を使われたと。

そうですね、膝継手とブレード(板バネ)をつなぐ部分を名取製作所さんをお願いして、4号機か5号機くらいまで作ってもらいました。

—ご自身でも義足の勉強をされていたそうですね。専門学校に行って義肢装具士の免許を取りまして、



▲山本選手とスポーツアダプター

## ▼名取製作所 名取社長と山本選手



基礎知識を持った上で義足を使って陸上競技をやっているの、[こう調整すれば早く走れるんじゃないか]というのが頭に浮かぶんですね。名取製作所さんと一緒にやるようになって、より自分のニーズに合った部品を作れるようになりました。

### —名取製作所さんとお知り合いになったきっかけは？

義肢装具士の方から紹介していただいて、発注をお願いするようになりました。壊れるギリギリまで軽いものというこちらの要求に対して何度も協議して、2015年7月に限界まで軽い部品を作ってもらいました。それは実際に壊れましたが、そのことによって「この限界値を持って自分の限界に挑もう」と納得してリオパラに臨み、自己最高記録を出すことができました。メーカー側としては嫌な気持ちだったかもしれませんが、義足が壊れたくらいで怪我はしないし、それ